

『マピマイヤー』 箱粒剤

農林水産省登録 第2270<u>3号</u> ●成分: イミダクロプリド・・・・・・2.0% イソチアニル・・・・2.0% ●毒性: 普通物 (「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に)

育苗箱処理で水稲の主要病害虫に高い防除効果を示します。

水稲主要病害虫のいもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イネヒメハモグリバエなどに対して 高い防除効果を発揮します。また、白葉枯病、穂枯れ(ごま葉枯病菌)に対しても効果があります。

は種前から移植当日までと幅広い処理時期があります。

新規殺菌剤ルーチンと新技術「CR(コントロール・リリース)」を適用したアドマイヤーにより幅広い処理時期を可能にしています。

植物病害抵抗性誘導型殺菌剤であるため耐性菌発達のリスクが小さい薬剤です。

ルーチンは、既存のイネいもち病薬剤耐性菌に対しても有効です。

浸透移行性に優れ、長い残効性があります。

ルーチンとアドマイヤーは、優れた浸透移行性と長い残効性を有しています。

人畜および有用生物に対しても高い安全性を示します。

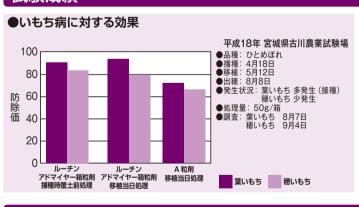
人畜、水産動植物などへの安全性が高く、環境への影響が少ない薬剤です。

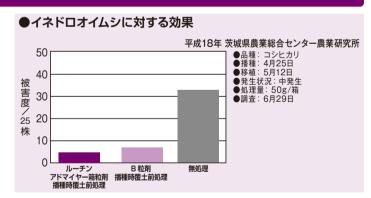
用病害虫および使用方法(2017年10月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲(箱育苗)	内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	<u> </u>	移植当日	本剤:1回 イミダクロプリド:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田での散布では2回以内) イソチアニル:3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	育苗箱の上から 均一に散布する
	白葉枯病 もみ枯細菌病 イネヒメアンブリバエ		は種時(覆土前) 〜移植当日		
	イネドロオイムシ (30×60 ツマグロヨコバイ 使用土壌	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土 又は覆土に均一に 混和する
	イネアザミウマ		は種時(覆土前) 〜移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する
			は種前		育苗箱の床土に 均一に混和する

^{*} 印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

試験成績





注意事項

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晩期栽培では、は種前およびは種時の処理により薬害が生じるおそれがあるので、これらの時期での使用をさけて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合がありますので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないように注意して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。
 - ●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室 0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く